



## こどもがまんなかの神戸へ!! そして、めぐみ豊かな北区!!

当選後の1年間は、教育こども委員会と外郭団体に関する特別委員会に所属し、神戸市政の様々な課題について審議し、政策の提案をしてきました。こども視点で政策を考え、こどもたちがのびのびと過ごせる環境を作っていくために、様々な課題を解決し、政策提案をしています!また、北区の豊かな自然の中で、豊かに過ごせるまちを作っていくために『いつまでも住み続けたいまちづくりへ』をめざして新年度の予算審議に取り組みました。

✿これからも、市政へのご意見や、お困りごとなど、いつでも&どんなことでもご相談ください!

プロフィール

経歴

- 谷上幼稚園、谷上小学校、山田中学校、夢野台高校40回生、ノートルダム清心女子大学
- 神戸市立中学校教諭、不登校支援や情報教育指導員、大手前大学職員等  
神戸みなとライオンズクラブ  
北神戸軟式少年野球連盟顧問  
菊水山登山会・親鸞会

## 令和6年度 神戸市予算(案)の審議をしました

### 伊藤めぐみが昨年9月に行った代表質疑において 「校内サポートルームの整備と人の配置」を提案した不登校対策について、 神戸市内の全小・中学校で整備される予算に反映されました!

2023年9月22日  
代表質疑と答弁を  
ご覧ください

令和6年度  
予算実現!!

- 不登校児童生徒への支援《5億4,693万円(うち5年度2月補正 8,365万円)》
- 学びの多様化学校(不登校特例校)の設置準備(R7年度開校予定)
- 全小・中学校における校内サポートルームの整備・支援員の配置
- くすのき教室(教育支援センター)の受入れ体制の拡充



※学びの多様化学校とは：  
不登校児童生徒の実態に配慮して特別に編成された  
教育課程に基づく教育を行う学校

### 伊藤の質疑

不登校生は今の神戸市の現状でしたら、例えば保健室に行ったり、ほかの空き教室や空きスペースで「ここで過ごしてね」というような学校の状況に応じた対応がされていると思いますが、心身ともに疲れた時には、学校にほっとできる居場所があるということ、これを実行していただきたい。

▲ 本会議場にて代表質疑

学校内にサポートルームを整備して、そこにやはり人の配置をすることが大事だと思いますので、専任のサポートルームスタッフを配置するなどしていただきたいと思いますが、ご見解を伺います。

### 教育長の答弁

「校内の居場所づくりにつきましては、やはり自分の学級に入りづらい児童・生徒が校内において安心して過ごすことができるということで、私どもも校内サポートルームを整備をして、現在、教室以外の居場所づくりというものを進めております。中学校につきましては、今年(2023年)度中に全校での整備を目指しております。小学校につきましては現在、各校の状況の把握をしているところで、アンケート調査を行っております。このサポートルームの新設や拡充ということに当たりましては、場所の確保ということとともに、学習指導員や学生ボランティアの活用も含めた人的面での工夫、こういったことも必要でございます。不登校児童・生徒へのきめ細やかな支援ができるように今後進めてまいりたいと考えております。」

### 伊藤の見解

市内の不登校児童生徒数は年々増加傾向にあり、児童一人ひとりの状況と、発達段階に応じたケアができるように居場所とサポートする人材が必要です。学校が安心して居場所になるよう、これからも取り組みます!

## 教育こども委員会の審査にて [2024年2月16日]

第4期神戸市教育振興基本計画(素案)についての報告をうけて、「教職員の新規採用が増えているが、働きやすい職場であること、20代30代の教員が多いことから、結婚、妊娠などの際にも更衣室や休憩を取るスペースの環境整備を、計画的に取り組むべきではないか」と意見を述べました。今後、人材確保はどの業界でも重要なテーマですが、神戸市立の学校園を選んで就職した教職員の離職率を減らしていくために、校内の環境整備はまったなしと考え、予算審査でも、かさねて質疑しました。



▲ 教育こども委員会で審議